

お蔭灯籠(阿遲速雄神社) 1 基

お蔭灯籠

おかげとうろう

分野

有形民俗文化財

所有者

宗教法人 阿遅速雄神社(あちはやおじんじゃ)

所在地

大阪市鶴見区放出東 3

紹介

法量 : 総高 2.98m



慶安 3 年(1650)以降ほぼ 60 年周期で、集団で伊勢神宮に参詣する現象をお蔭参りと称しており、お蔭参りの講に結縁した人々によって、村の境界や鎮守の森に建てられた灯籠を「お蔭灯籠」と呼ぶ。

慶応 3 年(1867)のお蔭参りは、大阪では打ち壊しやええじゃないかと連動した大きな民衆運動との関連性が考えられるが、市内に残る関連史料は少ない。

このお蔭灯籠は石造の春日式で、正面に「大神宮」「おかげ」と陰刻され、慶応 4 年 3 月に仁兵衛をはじめ 37 人が結縁し、松屋町の石工源助が制作したものである。

お蔭灯籠の事例としては市内唯一のものである。